

セキュリティ モジュール

保護を、ビジネスで最も
必要とされる領域まで
拡張

(Kaspersky Next Optimum向け)





Kaspersky Next Optimumは、中小規模の企業向けにカスタマイズされたセキュリティソリューションです。エンドポイント保護という強固な基盤に基づき、Endpoint Detection and Response機能によって強化された本ソリューションは、高度なサイバーセキュリティの実現に不可欠なXDRやMXDRへのスムーズなアップグレードも可能にします。

セキュリティモジュールで、保護対象の特定の領域を強化しましょう

ビジネスの成長に伴い、攻撃対象領域も拡大していきます。新しい従業員、ツール、環境、メールの送受信フロー、ドメイン、デジタルサービスなどは、いずれも攻撃者にとって新たな攻撃の機会となります。

セキュリティモジュールを使用すると、必要な時に特定のセキュリティ機能をKaspersky Next Optimumに追加できます。その際、既存の設定の置き換えや、複雑で不要なプロセスが発生する心配はありません。

ビジネスが発展するにつれて、セキュリティのニーズも変化していきます

各モジュールは、社内の既存の専門知識、ビジネスの優先順位、必要な保護レベルに応じて、段階的に追加できます。



最も必要な場所に保護機能を追加



Security Awareness

従業員のセキュリティ意識を向上し新たな防衛ラインへと転換

- セキュリティ意識向上とフィッシングシミュレーション
- 役割に応じたサイバーセキュリティトレーニング



Email Security

メールの脅威がユーザーに到達する前に阻止

- 機密データの保護と管理
- メールインフラ全体を完全に可視化



Workload Security

組織のハイブリッドクラウド環境を保護

- グローバルおよび地域の規制要件に準拠
- 多層的な保護を、誤検知の最小化とともに実現



Threat Lookup & Analysis

脅威の調査と分析をリッチ化

- クラウドサンドボックスによる不審なファイルやオブジェクトの分析
- 脅威インテリジェンスのルックアップとIoCの可視化



Vulnerability Management

インフラ全体の脆弱性の特定と是正

- 資産と脆弱性の可視化と管理
- 脆弱性へのレスポンスの高速化と、脆弱性の修正にかかる平均時間の短縮

柔軟な保護機能でセキュリティ機能を強化



実用性を重視した設計

各モジュールは、中小規模企業における優先事項、リソース、セキュリティの課題への対応を目的として設計されています



保護を簡単に拡張

Kaspersky Next Optimumの新規および既存のお客様専用の特別条件



セキュリティの簡素化

複雑な構成や過剰な実装が発生しない設計



重要なことに集中

自社ビジネスで最も重要な領域の強化



段階的な拡張

新たなリスクの出現に備え、セキュリティ対策を強化

セキュリティモジュールが特定のセキュリティ上の課題に対処する仕組み



Security Awareness



Email Security



Workload Security



Vulnerability Management



Threat Lookup & Analysis



フィッシングとソーシャルエンジニアリング



機密データの漏洩



不明または不審なファイル



ハイブリッド環境の露出



脆弱性と設定ミス



[総] 外部脅威の可視化



詳細はこちら

www.kaspersky.co.jp

© 2026 AO Kaspersky Lab.登録商標およびサービスマークは、各所有者の財産です。

#kaspersky
#truetobusiness